

平成29年度生駒市男女共同参画審議会第2回審議会会議録（要旨）

- 1 日 時：平成30年2月9日（金）午前10時00分から午前11時30分まで
- 2 場 所：生駒市コミュニティセンター 206会議室
- 3 出席者：榎村委員、立松委員、内橋委員、甲斐委員、高田委員、竹内委員
（欠席者：原川委員）
（事務局）吉岡市民部長、中田人権施策課長、松田男女共同参画プラザ所長
- 4 議事内容：1 事業案件
（1）男女共同参画プラザの平成29年度事業の進捗状況について
（2）生駒市ダイバーシティ推進事業者表彰制度について
（3）平成30年度事業計画について
2 その他
- 5 傍聴者：なし
- 6 要 旨

（事務局） 【会議の公開と議事録の公開の了承確認】

（会 長） 【挨拶】

<審議会>

（事務局） 【会長に議事進行依頼】「生駒市男女共同参画推進条例施行規則第12条」

（会 長） 【会議公開、会議録作成、公表確認】

会議次第に従いまして、議事を進めます。

まず、1事業案件の（1）男女共同参画プラザの平成29年度事業の進捗状況についてお願いします。

（事務局） 1事業案件（1）男女共同参画プラザの平成29年度事業の進捗状況について説明

（会 長） 何かご意見、ご質問等ございますか。

（会 長） 先程説明のあった男性参加が増えたり、ご夫婦での参加があったとか、土曜開催について詳しく説明ください。

（事務局） 土曜日開催は「防災と男女共同参画講座」、「怒りのコントロール講座」、「男性のためのコミュニケーション講座」で、「怒りのコントロール講座」ではご夫婦での参加が1組ございました。

「片づけ実践ワークショップ」は平日の日中開催ですので、参加者は全員女性です。

- (会 長) 出前講座の対象者は？
- (事務局) 幼稚園や小学校の PTA の方や先生方です。
- (委 員) 防災の講座は土曜日開催ですか？
- (事務局) そうです。
- (委 員) 50人募集で、18人出席は少し寂しいですね。
- (会 長) ジェンダーというのは難しい言葉ですので…。
こういったものはどちらかの団体と一緒にやるとか、避難所を作ったり、
NPO や地域団体なんかも動きますし…。
- (事務局) 災害が起こった場合に最前線に立つ防災安全課と事前に協議をさせていただき、男女共同参画といった観点からジェンダーという切り口でさせていただき、一定の棲み分けをさせていただいたものでございます。
- (会 長) 具体的な災害時の対応とくっつけてやるのか、ジェンダーだけをやるのかということなんですが…。
- (事務局) 今回の講師は阪神・淡路大震災の震災記念館のリサーチフェローをされている方で、特に災害発生後の避難所運営にかかるジェンダーへの配慮を中心に講義を頂戴し、グループ討議をしていただきました。
- (委 員) タイトルが災害とジェンダーというのは分かり難い。
- (会 長) もう少し分かり易いタイトルが良いのではと思います。
- (委 員) 男性のためのコミュニケーション講座は平日ですか？
- (事務局) これは土曜日と日曜日の開催です。
- (委 員) 男性がこういうことを考えているんだということを女性に学んでもらおうというのが面白いのかなと…。
- (会 長) グループワークやワークショップなんかもやるんでしょうか？
- (事務局) 男女共同参画の理解を進めるうえで男性対象の講座を設ける必要性があるうかということで、昨年度から進めております。

(会 長) プラザの方では、年間開催しておられる講座の数はこの程度でしょうか？

(事務局) 予算が許せば開催講座の数はある程度の柔軟性をもっております。

(会 長) 出前講座はどうなっていますか？

(事務局) こちらで準備させていただいているのは、講師の派遣を委託という形をお願いするとなっております。

(会 長) 開催が難しい場合は、他の団体と連携するか、共催するかという方法もありますし…。

できれば、今度の出前講座の結果がどうだったとか、職員部会の内容がどうだったかとかを結果報告いただければ良いと思います。

(事務局) 出前講座は、参加者の方にアンケート調査をいたしまして、それを分析させていただいているところです。

また、職員部会は先日7日に最後の集まりがあり、そこで部会において検討された内容が発表されております。審議会の方にも情報の共有をさせていただくということで、ご報告を申し上げます。

(副会長) 学校も避難所指定ですが、市内の小・中学校へはどういったアプローチをされていますか？

(事務局) アプローチは差し上げておりますが、お忙しい中、夏休みのカリキュラムのひとつとして組み入れていただく努力をこちらからさせていただく必要があるかと考えております。

(委 員) 学校などは、1年以上前から取り組まないと無理だと聞いています。

(委 員) 年間カリキュラムを組んでますし、色んな形で、色んな方面から依頼を受けることが結構あります。

我々もできるだけ振り分けを行いながら考えますが、年間の授業日数が限られていますので、受け入れられる分野とそうでない分野があります。

防災関係は当然我々は知っておかなければなりません、ジェンダーなどは職員向けの研修になってくると思われますので、夏休みとかに組み込んでもらえれば参加者も増えるのかなと思います。

(会 長) 学校というのは一番近い存在ですので、むしろみんなが知っている学校を会場にして防災のワークショップをやってもらうとかがいいのでは…。

阪神・淡路大震災のときもそうだったのですが、公園や学校というところ

は避難所になっているのですが、とっさのときに自分はどこへ避難するということが分かり難いものだったそうです。

ですから、しょっちゅう行っているところは頭にすぐ思い浮かんで駆け込んだりしますので、先生のお話も大事ですが、市民もそこでどういったことが出来るのかを考えていただくことが大事だと思います。

(副会長) 五條中学校だと思えますが、地域の人と子どもと先生と一緒に避難所運営について考えるという1泊2日の研修をしています。

そこが避難所になった場合は、どういう風に運営を行うかを考える研修をしています。

確かに、学校の中のことは子どもが一番良く知っていて、地域の人も学校に何があるのか予め分かっているとパニックにならないと思われれます。

(会長) 大阪市立大学が、キャンパスや建物もしっかりしていますので避難所になることがあります。

大学の共有ホールなんかを使って地域の子どもたちとテント生活を行いながら、どういう状況で自分が生活できていくかを大学の教職員も交えて1泊2日の研修をされています。

受け入れ側になる大学の教職員や子どもたち、預けている親たちも含めて具体的に考えていただくことをされたと聞いています。

(委員) 生駒市には児童・生徒健全育成推進協議会という組織が中学校区毎にあり、これは学校関係者と民生委員、自治会長などの地域の人が集まっている地域ぐるみの組織で、そういったところで研修をしていただければ地域の方や学校の方とタイアップできるのではと思います。

私どもの地区でやらせていただいたのは、薬物乱用、振り込め詐欺、スマホ・LINEなどで、問題の提起を地域の高齢者にも分かっていることができます。

男女共同参画事業も乗っかって、8つの中学校校区を順に回していくのも良いかもしれません。

(会長) 具体的な災害という中に男女共同参画を入れながら、ジェンダーは中々難しいので、今までと違ったやり方も良いかも知れませんね。

ここへ来て勉強していただくことも良いですが、地域へ出て行って講座をやるという方法もありますね。

(委員) 実際に具体的なことを考えてみないと、自分の防災に対する準備が全然整っていないことに気付きます。

特に、災害とジェンダーという中で、具体的にどういったことが起こるのか想像してみるとか、地域ぐるみで取り組み、具体的な体験をしてみるとか

はとても良いことだと思います。

(会 長) 生駒市ダイバーシティ推進事業者表彰制度について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) (2) 生駒市ダイバーシティ推進事業者表彰制度について説明

(会 長) 何かご質問・ご意見等ございますか？

(委 員) 生駒市はダイバーシティに関してはどうなんですか？

(事務局) 採用職員の男女比は同じくらいですし、高齢者では定年退職された職員の再任用をやったり、障がい者雇用も決められた割合以上に採用しています。

(委 員) 生駒市は外国人がたくさんいる大学院大学があるので、活用できれば良いなあと思います。

(会 長) 募集をしても中々応募が集まらないので、商工会議所や市の事業所関係部署が、関係しそうな事業者にこちらからアプローチをしなければいけないのではないかと思います。

(事務局) 最初数年間は、事業が軌道に乗るまでは行政側である程度絵を描いた表彰というのでも否めないのではと考えています。

(会 長) 最初は本事業に関して、事業所へ啓発して、意識を持っていただくことになろうかと思います。

また、選考内容ですが、具体的に選考する際に大きな評価項目と細かい評価項目を書いてきっちりと評価項目で評価しないとなぜあの事業所が表彰されたのかという話しになりますので…。

選考内容は大企業に寄った項目のように感じますので、中小企業でもやっつけていける項目や病院や福祉施設の事業所も入れれば対象が広がっていけるのではと思います。

制度は大概の事業所にあったりしますが、制度の有無よりは、その制度が実際どの程度活用されているかが大事です。

一般の事業所に馴染まなかったりするかもしれません。

(委 員) 生駒市としてこんなダイバーシティをやってほしいと言うモデルなんかはありますか。

(事務局) ユニークな取り組みをされていることを表彰することによってその情報を

他の事業所が情報共有をしていただいで自社においても取り組んでいただくことを目的としております。

(委員) 理想のイメージがあって、それに向かってやってもらえれば表彰しますという具体的に目指すもののモデルケースを提示し、表彰されて企業価値が上がるなどのメリットがありますという流れがいいのではと思います。

良い環境の職場を作るためにダイバーシティをやっているんですという感じが良いと思います。

(事務局) 具体的に提示する方がとっつきやすいと思います。

選考内容の具体性を図ったもので分かり易い表現というものを考えていかなければと思います。

(委員) 生駒市の方が引っ張って行って具体的な条件を表示すれば良いのではと思います。

(副会長) 資料2の「ダイバーシティとは？」という表現より「ダイバーシティ経営とは？」の方が適切だと思います。

(事務局) 訂正させていただきます。

(会長) 広く人材を活用することで企業経営がもっと良くなり、生産性が上がるんだということで、今までどおりやっていたはダメですよということですね。

言われたから男女共同参画や女性活躍推進をやりますという意識は強いですが、実際はもう企業自身がそうではありません。

地域の中小企業でも、グローバルの中で動いているので、色々な方の能力を活用しながら事業を動かしていかなければならないと分かっておられる企業は、これをやるのが結局良いことだと思っていただいたら良いのです。

(会長) 障がい者雇用の目標比率が上がるという話があって、大企業はどうやって障がい者雇用を確保するのが大変らしいです。

障がい者雇用は引く手あまたで、非正規雇用では中々難しいようです。

高齢者雇用は65歳までで動いていますが、自治体職場はどうなっていますか？

(事務局) 65歳までです。

(会長) 具体的なところをブレイクダウンする場合、資料4を具体的な項目へ落としただけであればと思います。

(部長) 小さい企業であれば、全てを満たすのではなくひとつ良いところがあれば表彰するという風にしないと、どこも該当しなくなると思います。

(会長) この事業を推進するには、事業者にダイバーシティを知っていただかなければなりません。

こちらからアタックして指標を作って全て満たしていなくて結構ですので書いてもらって意識化していただくことが大事かなと考えます。

実際自治体で運用されているところに聞いていただければと思います。

そして選考方法ですが、審議会でやったら良いと思いますが、審議会委員が全員企業経営についてご存知ではないと思いますし、例えば商工会議所関係の方や企業経営に明るい方も入れられたらどうかと思います。

(部長) 男女共同参画推進条例施行規則第13条に関係者の出席等の規定がありますので、この選考の時だけ入っていただくことは可能です。

(会長) 表彰されたことで企業価値が上がるということが大事です。

(事務局) 調べてみたのですが、インセンティブを導入したいが中々難しいということです。

入札の評点を受賞したことで少し嵩上げする自治体がありましたが、これはどうしても工事請負関係の事業者に限られてしまいます。

色々な企業に全てあてはまるものはないかと考え、市民税の軽減が出来るかどうかを税担当に確認しましたが、それは無理だと聞いております。

現在、インセンティブを広くあまねくかける方法が何かないかと考えております。

(委員) お金を使わないでできることを考えればどうでしょうか。
生駒市推薦とか、生駒市が認める優良企業とか…。

(事務局) 市独自の優良企業マークを採用されているところがあります。

(委員) 国の表彰をもらうにはまず市町村から始まって、都道府県、国とランクアップしていく方法なんかが良いのではないのでしょうか。

(会長) 奈良県内でもかなり面白い企業があります。

事業所の横に保育室を設置して女性が働きやすいことを実践されているところとか、ユニークなことをされているのをどう発掘していくか、面白い情報をどうやって集めるかが難しいところです。

(委員) 市からプレスリリースで発信していけば事業所の信用が高まりますね。

- (会 長) 生駒市が推進事業者として事業者を表彰されるとすごい価値ですから。
- (委 員) お金も使いませんから…。
- (会 長) 今は大変な人手不足でして、皆さん良い条件のところを探して行かれるので、表彰の有無が判断材料にもなります。
- (委 員) 広報紙は読みやすく、色んな記事が記載されているので、優良企業の取り組み等を紹介されたら、他の企業への刺激になるのではないかと思います。
生駒市が市内にこういう企業がありますよと広報紙で取り上げれば、こういうことをすれば表彰されるのか、こういう楽しいイメージの企業があるのかと知ることになり、そうなれば理想の企業イメージも出せますし、こういう内容なら自分のところもやってみようとかと考えられるのではないかと思います。
宣伝になってはいけないのですが、生駒市にこういうところがあるんだということは、市民の活力・エネルギーの基になるのではと思います。
- (会 長) その通りだと思います。
大阪市の場合は、リーディングカンパニーというふれこみでホームページを開けると出てきますが、それを見るとここはこういう企業なんだなというイメージが湧きます。
ただ、事業者として、どういうところがダイバーシティ推進事業者なのかがよく分からないと思いますので、これを読んでいただいてこういうことをやるんだな、こういったことは良いことなんだと分かっていただくことにつながるとと思います。
- (部 長) マスコミの方に取り上げていただき、こちらから情報提供して新聞に書いていただくのが1番目で、その後広報紙若しくはホームページ・フェースブック等でお知らせをして、最後は企業側から発信していただくところまでいければ良いと思います。
- (会 長) 第1弾でやる場所はいいですが…。
- (部 長) 2回目以降は載りません。
- (委 員) 最初手を挙げた企業は新聞に載るかも知れないというのは大きい。
- (部 長) 県内でやっているところはありますか？
- (事務局) 県内でダイバーシティの表彰をされているところはあります。

- (会 長) 続いて平成30年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。
- (事務局) (3) 平成30年度事業計画について説明
- (会 長) 何かご質問・ご意見等ございますか？
- (委 員) 親子クッキング教室ですが、過去に食中毒が出た教室がありましたので、必ず行事保険には入っておかれたら良いと思います。
- (副会長) 父子を対象にとなっていますが、これはどうなのでしょう？
- (事務局) この件については、事務局内でも大変な論議になりました。
ただ、平成23年度に父子対象のクッキング教室を開催しましたところ、非常に多くの申込があり、一先ず父子を対象としてやってみて次年度以降状況をみて変えていけばよいのではというところに落ち着いた経過がございます。
- (委 員) パネルディスカッションには誰を呼ぶのかは決まっていますか？
- (事務局) パネルディスカッションはまだ具体的には動いておりません。
- (部 長) 市長にはパネラーで入っていただくとは考えております。
- (委 員) 災害ゲームというのは、面白そうですね。
- (副会長) 災害図上訓練DIG（ディグ）は面白いです。
学校の敷地内で、例えば障がい者の方はどこに移動するのかとか…。
- (委 員) 防災安全課の方が研修でやっています。
こういう方が来られたらどの部屋に連れて行ってとかの訓練です。
- (委 員) 疑似体験ということですから、効果的でやり直しがききますし…。
事前に試行錯誤ができるというのは良いのではないのでしょうか。
- (会 長) 行うゲームがHUG（ハグ）またはクロスロードとなっていますが、これはどちらかということですか？
- (事務局) どちらかで考えております。
ただ、自治会が127団体、小・中学校が20校、市の公共施設をこの講座のターゲットにさせていただこうと考えていますが、1団体に1人の参加

となりまして150人を超えますので、この人数であれば一度に出来ないという悩みがございます。

HUGは100人までが限度であると聞き及んでおりますので、2回に分けて開催させていただこうと考えております。

生駒市の地理的な状況を考えて、避難所運営において施設ごとの運用に大きな差が出ないように、出来るだけ多くの関係者の皆さんにご出席いただいて平準化を図る必要があると考えています。

(会 長) これはどの程度の時間がかかりますか？

(事務局) 半日程と聞いております。
ゲーム自身は2時間程度と聞いております。

(委 員) 運営はどこがされますか？

(事務局) 市から講師をお願いする予定です。

(委 員) 専門の団体とかがあるのですか？

(事務局) 昨年「防災と男女共同参画講座」の講師をお願いした方に依頼をさせていただこうと考えています。

(会 長) 新規計画と隔年計画で説明がございました以外の講座については、今年と同様にされるということでしょうか？

(事務局) そのとおりです。

(会 長) 今日ご欠席の方は？

(事務局) 市民公募の原川さまです。

(会 長) お1人であれば、ほぼ皆様方のご意見は頂戴したということで…。他に何かございませんか？

(会 長) 事業案件についてはご審議を頂戴したということで…。
2 その他 は如何でしょうか？

(事務局) 前回の審議会で質問等が出た件の説明をさせていただきたいと思っております。
まず、お手元にお配りしました高齢者虐待防止に向けたカードですが、今後も引き続き配付していくと担当者から聞いております。

また、育児休業ですが、これは無給の制度ですが共済組合から5割余りの給付があるということです。

それと、女性のおられない審議会の数を調べさせていただきました。

14団体で実委員の総数が87名ということでございます。

委員総数は741名のうち女性委員が229名で30.9%の割合になります。

(部長) 本日はありがとうございました。
今回で皆さんの任期中の会議としては最後になろうかと思えます。
2年間、ご審議を頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。

(事務局) 本日はご審議ありがとうございました。
本日の会議録につきましては、後日郵送をさせていただきます、内容ご確認のうえご返事いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上